

北海道福祉サービス第三者評価結果公表事項

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ

②運営者（指定管理者）に係る情報

名称：社会福祉法人 水の会

代表者氏名：理事長 小林 信子

所在地：〒060-0063 札幌市中央区南3条西1丁目1番地 南3西1ビル5階 TEL011-205-0341

③事業所の基本調査内容

別紙「基本調査票」のとおり

④総評

◇特に評価の高い点

1、遊びと学びを大切にした保育

当園は福祉のまちづくりに取り組んでいる栗山町の中心部にあり、近くには役場、小学校や図書館、プール、児童センター、公園、夕張川河畔、畑や田んぼなどがあり、保育環境や自然環境に恵まれている。広い園庭には樹木や築山などがあり、自然の中で子どもが積極的に遊べる環境づくりをしている。

法人設立の理念「自然から学ぶ」に基づき、園庭や近くの公園などに行き、色々な自然に触れたり、木の実を使ったままごと遊び、ごっこ遊びをするなどして、自然物を使って遊ぶ楽しさを感じたり、虫や草花へ興味を持って触れる中で、命の大切さに気づけるようにしたり、発見したことや不思議に思ったことを保育者と一緒に調べたり、自分で調べるなど関心を広げながら、遊びと学びを大切にした子供の視点に立つ保育を実践している。

2、保育実践の積み重ねを通じた園内研究

園内研究は、法人設立の理念「自然から学ぶ」のもと子どもたちが主体的に遊びに取り組むことをねらいとしている。毎年、ねらいにそってテーマを決めて、保育観察やビデオ等で保育実践の振り返りを行っている。保育を行っている様子を保育者が互いに確認し合ったり自分の保育について話し合ったりして保育実践を積み重ねている。日々の保育に生かせるように、今年度は「子どもの育ちや発達にあった活動」をテーマにしている。保育者が学び合い保育の質の向上につなげている。

3、感染症への基本的徹底対応から保護者と子どものための感染症対応ゾーニング

行政や関係機関と感染症対応の情報交換を密に行っている。全職員間で基本的な手順の徹底確認を行い、子どもの生活空間のみならず職員室内の亚克力板の仕切りや座席の空間拡大の徹底等と園舎全体に対応を行っている。登園・降園時を通じた子どもの園生活の保護者理解のために、感染症対策の保護者への周知・理解を得て、常に新型コロナ禍状況の情報確認を行いながら、保護者の入室可能域を玄関のみならず保育室が見わたせる廊下まで広くゾーニングを行う工夫に取り組んでいる。

◇改善を求められる点

1、中・長期計画の策定

理念や保育方針の実現に向けた組織体制、業務の効率化と円滑化、施設整備、保育の質の向上、人材募集と職員の育成などについて、組織として方向性を示して、目標を達成するため中・長期計画（令和3年度から令和7年度）を策定している。年度ごとの具体的な数値目標が未設定の計画があるので、数値目標や具体的成果を盛り込み、実施状況が評価できる計画の策定が望まれる。

2、本園の特色を生かした全体的な計画の編成

全体的な計画は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を保育と関連づけて作成して、「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちを通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」という乳児保育の視点とともに、養護と教育の一体性を幼児保育へとつなげている。

園周辺は公園や小学校、児童センター、図書館などがあり恵まれた環境を保育に取り入れている。町福祉課、子ども発達支援センター、町子育て支援センターなどと連携し、子どもの育ちを支える保育環境を整えている。地域の子育て支援は、地域の実態を考慮して地域開放事業として行っている。このような本園が取り組んでいる地域の特色を生かして、保育が実践できるような全体的な計画を編成することが望まれる。

3、専門性を活かして子育て支援を意識したアセスメントから指導計画策定へ

保護者に対する園の専門性を活かした支援として、保護者が子どもの成長に気づき子育ての喜びを感じられる子育て支援が期待されている。入所時には子どもと保護者へのアセスメントを行い子どもの身体状況や子どもと保護者の生活状況を把握し「全体的な計画・指導計画」をもとに指導計画の策定に取り組んでいる。その後、子ども視点のアセスメントから「全体的な計画・指導計画」をもとに指導計画の策定を行っている。その子ども視点のアセスメントを大事にしながら、アセスメントを保護者の子育てにおけるニーズ等の把握まで広げて、個々の保護者の子育て支援につながる保育計画策定に向け、保護者の意向把握と同意等の手順の再検討に取り組むことが期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

認定こども園として初めての受審を通して運営や保育について振り返る機会を頂き、気づきや学ぶことが多くありました。また、客観的な目でご指導いただき、改善点が確認できたことは大きな収穫となりました。今回、高い評価を頂いた項目については今後も継続していき、改善を期待された項目については課題として改善に取り組み、質の高い保育サービスの提供を心がけてまいります。

地域の特色を生かしながら『子どもの視点に立つ保育』を保育の柱に、地域の子どもたちを育みながら運営を行っていきたいと考えております。

⑥評価対象項目に対する評価結果コメント

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり